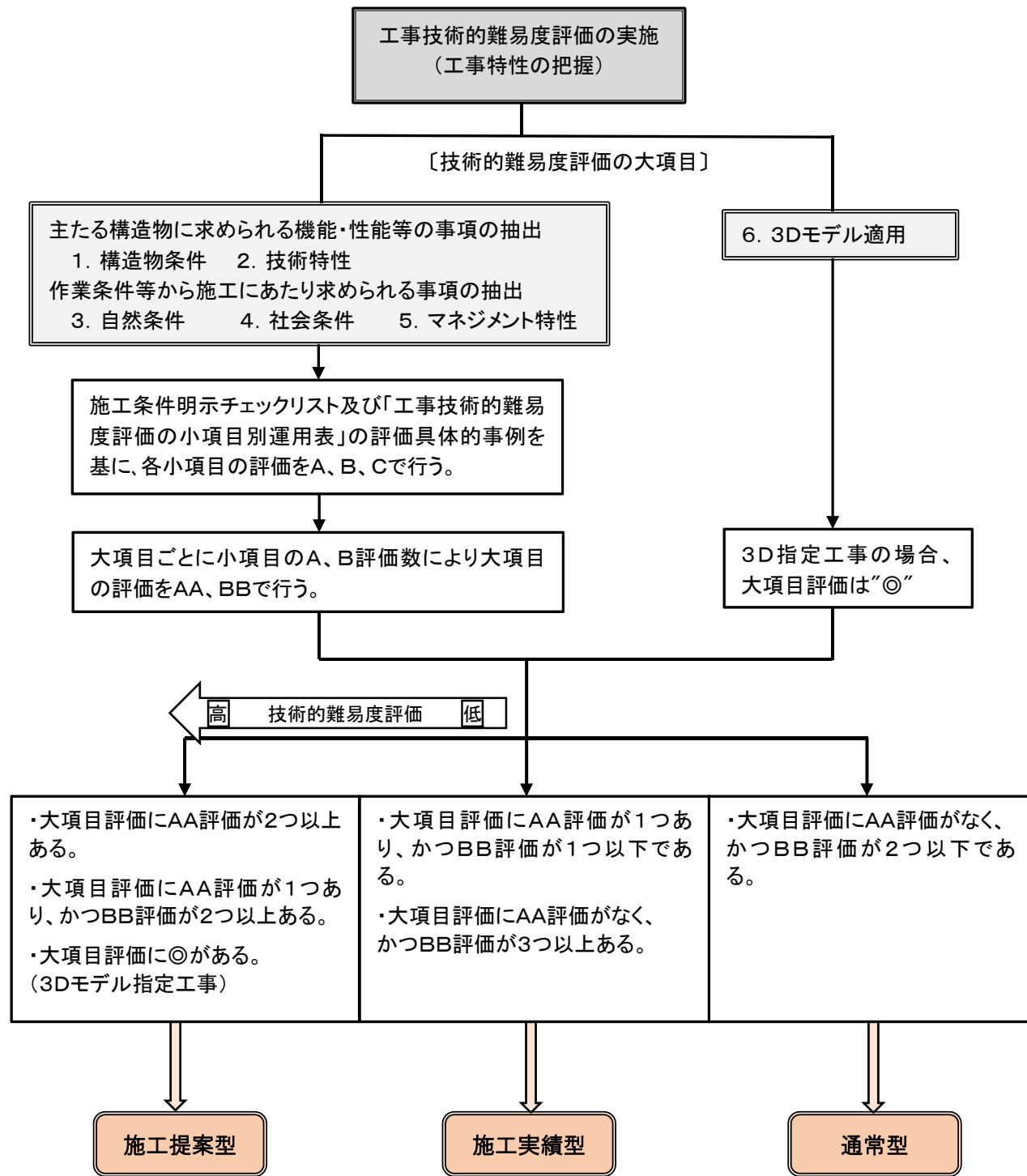


平成29年度総合評価方式の実施について

総合評価方式は、発注予定金額1,500万円以上の工事を対象に実施する。

【タイプ選定フロー図】



【大項目評価と小項目評価との関係及び総合評価方式タイプと大項目評価の関係】

総合評価方式の適用に係る工事技術的難易度評価表(土木系工事)

工事名	設計金額(税込)		工事区分	
大項目評価	大項目	小項目	小項目評価	評価内容
1. 構造物条件		①規模	大項目評価	小項目評価
		②形状		
2. 技術特性		①工法等	AA	対象大項目に対応する各小項目評価にA評価が1つ以上ある。 対象大項目に対応する各小項目評価にB評価が2つ以上ある。
		②技術提案等	BB	対象大項目に対応する各小項目評価にB評価が1つあり、かつA評価がない。 対象大項目に対応する各小項目評価にA評価又はB評価がない。
3. 自然条件		①湧水・地下水	大項目評価	小項目評価
		②軟弱地盤		
		③気象・環境		
4. 社会条件		①近接施工、地中障害物	大項目評価	小項目評価
		②騒音・振動、水質汚濁		
		③作業用道路・ヤード		
		④現場作業		
5. マネジメント特性		①住民、関係機関対応	大項目評価	小項目評価
		②工程管理		
		③品質管理		
		④安全管理		
6. 3Dモデル適用			◎	3D指定工事の場合
大項目評価集計				
AA評価	0			
BB評価	0			
◎評価	0			
評価型	大項目評価			
施工提案型	大項目評価にAA評価が2つ以上ある。 大項目評価にAA評価が1つあり、かつBB評価が2つ以上ある。 大項目評価に◎がある。(3Dモデル指定工事)			
施工実績型	大項目評価にAA評価が1つあり、かつBB評価が1つ以下である。 大項目評価にAA評価がなく、かつBB評価が3つ以上ある。			
通常型	大項目評価にAA評価がなく、かつBB評価が2つ以下である。			
総合評価方式適用判定				

〔小項目の評価方法〕
 ・「小項目別運用表」を参考に、該当する小項目ごとに評価内容には、現場条件等に基づく具体的な数値など、小項目評価にはA、B、C、-を選択する(C、-の3Dモデル指定工事の場合は、「指定」を選択する)

〔大項目の評価、総合評価方式の適用判定〕
 ・小項目評価結果より、別紙大項目評価基準に基づき

〔総合評価方式適用判定〕
 ・大項目評価集計結果より、別紙総合評価方式適用判定